平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場会社名　株式会社 ミューチュアル　　上場取引所　東
コード番号　2773　URL http://www.mutual.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 榎本　洋
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 吉野　尊文　TEL 06-6315-8613

四半期報告書提出予定日　平成28年11月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	5,032	15.9	235	158.0	223	110.2	132	72.7
28年3月期第2四半期	4,341	23.5	91	―	106	279.0	76	316.7

(注)包括利益　29年3月期第2四半期　△39百万円　(―%)　28年3月期第2四半期　22百万円　(△55.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	19.18	―
28年3月期第2四半期	10.82	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	12,816	7,976	60.3	1,198.66
28年3月期	15,167	8,701	55.8	1,191.88

(参考)自己資本　29年3月期第2四半期　7,733百万円　28年3月期　8,464百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	―	0.00	―	25.00	25.00
29年3月期	―	0.00			
29年3月期(予想)			―	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,600	0.4	1,034	12.3	1,049	9.7	615	2.8	88.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	7,620,320 株	28年3月期	7,620,320 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,168,345 株	28年3月期	518,345 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	6,916,261 株	28年3月期2Q	7,102,064 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の進行や海外経済減速による企業業績の停滞や、天候不順等による個人消費の低迷が見られたものの、雇用・所得環境は改善しており、全体としては弱さも見られますが緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、中国や新興国などの景気減速に加え、英国のEU（欧州連合）離脱の影響等、海外経済における下振れリスクがあり、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況下、当社グループでは人材確保に努め製造機能拡大を図るとともに、プロジェクトチームを発足し多くのお客様に新型機を提案する等、営業力を強化し受注拡大に注力して参りました。売上高につきましては、一部大口案件の検収が第３四半期以降にずれ込みましたが、連結子会社の業績が好調に推移し前年同期比690百万円増加いたしました。損益面におきましては、売上高総利益率が1.0ポイント改善したことに加え、増収効果により売上総利益は190百万円増加しました。人件費やサービス費の増加により販売費及び一般管理費は増加しましたが、営業利益以下の各段階利益もすべて増益となりました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は5,032百万円（前年同期比15.9％増）、売上総利益は1,060百万円（同21.9％増）、営業利益は235百万円（同158.0％増）、経常利益は223百万円（前年同期比110.2％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は132百万円（前年同期比72.7％増）となりました。

報告セグメントに基づく各事業別の概況は以下の通りであります。

①産業用機械事業

当セグメントにおきましては、売上高全体では4,747百万円（前年同期比18.0％増）でありました。このうち、一連ラインが1,366百万円（同246.1％増）、包装機が824百万円（同21.8％増）、部品が422百万円（同13.5％増）と好調に推移いたしましたが製剤機が307百万円（同49.4％減）、充填機が977百万円（同11.0％減）、検査装置が198百万円（同8.5％減）、改造・調整・修理が649百万円（同0.9％減）と減少しました。

②工業用ダイヤモンド事業

当セグメントにおきましては、売上高242百万円（前年同期比15.2％減）となりました。内訳では、パウダー37百万円（同1.7%増）、原石60百万円（同39.6%減）、人造ダイヤ141百万円（同4.9%減）となっております。

③その他

その他は、主に坐薬用包装資材の販売で売上高41百万円（前年同期比30.4％増）であります。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比2,350百万円減少し、12,816百万円となりました。これは主として仕掛品が187百万円増加する一方で、受取手形及び売掛金、電子記録債権が合計で1,756百万円、現金及び預金が413百万円、前渡金が175百万円それぞれ減少したことによるものです。負債につきましては、前連結会計年度末比1,626百万円減少し、4,839百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金、電子記録債務が合計で876百万円、前受金が488百万円、未払法人税等が121百万円それぞれ減少したことによるものです。純資産は、主として自己株式が507百万円増加、その他有価証券評価差額金が197百万円減少、配当金の支払いが177百万円あったことにより、7,976百万円となり前連結会計年度末比724百万円の減少となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は3,744百万円となり、前連結会計年度末より312百万円減少となりました。主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は356百万円（前年同期比194.3％増）となりました。これは主に仕入債務の減少874百万円、前受金の減少483百万円、たな卸資産の増加214百万円等により減少したものの、税金等調整前四半期純利益223百万円に加え、売上債権の減少1,755百万円等により増加したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、獲得した資金は22百万円（前年同四半期は370百万円の使用）となりました。これは主に定期預金の預入による支出70百万円、有形固定資産の取得による支出24百万円、無形固定資産の取得による支出23百万円等により減少したものの、定期預金の払戻による収入172百万円等により増加したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は682百万円（前年同期比573.5％増）となりました。これは主に自己株式の取得による支出527百万円、配当金の支払額177百万円等により減少したものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しとしては、国内・海外とも不安定要素が多く、依然として不透明な状況が続くものと思われますが、現状では平成29年３月期 通期連結業績予想につきましては、前回発表（平成28年５月20日公表「平成28年３月期　決算短信」）から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号平成28年６月17日）第１四半期連結会計期間に適用し、平成28年４月１日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

（４）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年３月28日）を第１四半期連結会計期間から適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成28年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成28年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,240,976	3,827,200
受取手形及び売掛金	3,294,714	2,121,829
電子記録債権	845,366	262,051
有価証券	42,811	13,716
商品及び製品	71,444	82,828
仕掛品	1,951,438	2,138,842
原材料	68,086	78,933
前渡金	577,106	401,304
繰延税金資産	138,299	127,780
その他	109,835	152,251
貸倒引当金	△2,195	△2,442
流動資産合計	11,337,884	9,204,295
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	589,646	582,962
土地	668,904	668,904
その他（純額）	194,389	196,600
有形固定資産合計	1,452,940	1,448,468
無形固定資産		
その他	19,422	34,677
無形固定資産合計	19,422	34,677
投資その他の資産		
投資有価証券	1,765,534	1,512,721
長期預金	101,500	101,200
その他	1,111,019	1,136,184
貸倒引当金	△621,014	△621,012
投資その他の資産合計	2,357,039	2,129,093
固定資産合計	3,829,402	3,612,240
資産合計	15,167,286	12,816,535

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成28年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成28年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,414,259	2,580,812
電子記録債務	487,645	444,373
短期借入金	261,740	282,230
1年内返済予定の長期借入金	3,324	3,324
未払法人税等	214,932	93,218
前受金	1,400,496	911,584
賞与引当金	91,452	103,759
その他	241,654	147,098
流動負債合計	6,115,506	4,566,399
固定負債		
長期借入金	6,399	4,737
退職給付に係る負債	163,813	160,251
役員退職慰労引当金	78,224	80,546
その他	102,342	27,805
固定負債合計	350,779	273,340
負債合計	6,466,285	4,839,739
純資産の部		
株主資本		
資本金	669,700	669,700
資本剰余金	695,975	695,975
利益剰余金	6,655,058	6,610,157
自己株式	△262,493	△769,493
株主資本合計	7,758,239	7,206,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	729,771	532,151
繰延ヘッジ損益	△24,996	△5,686
為替換算調整勘定	1,663	949
その他の包括利益累計額合計	706,438	527,414
非支配株主持分	236,322	243,042
純資産合計	8,701,001	7,976,796
負債純資産合計	15,167,286	12,816,535

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成27年４月１日 至 平成27年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成28年４月１日 至 平成28年９月30日）
売上高	4,341,620	5,032,323
売上原価	3,471,853	3,971,968
売上総利益	869,767	1,060,355
販売費及び一般管理費	778,545	825,027
営業利益	91,221	235,327
営業外収益		
受取利息	6,306	5,359
受取配当金	11,325	13,766
為替差益	3,779	－
その他	3,892	5,192
営業外収益合計	25,303	24,317
営業外費用		
支払利息	1,059	1,399
為替差損	－	8,256
投資有価証券評価損	7,790	5,435
自己株式取得費用	－	20,272
その他	1,106	323
営業外費用合計	9,956	35,687
経常利益	106,568	223,958
特別利益		
固定資産売却益	131	－
特別利益合計	131	－
特別損失		
固定資産売却損	15	－
特別損失合計	15	－
税金等調整前四半期純利益	106,684	223,958
法人税、住民税及び事業税	32,578	78,050
法人税等調整額	13,830	3,900
法人税等合計	46,409	81,951
四半期純利益	60,275	142,006
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△16,544	9,358
親会社株主に帰属する四半期純利益	76,820	132,647

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年９月30日）
四半期純利益	60,275	142,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,061	△199,907
繰延ヘッジ損益	535	19,309
為替換算調整勘定	217	△714
その他の包括利益合計	△37,308	△181,311
四半期包括利益	22,967	△39,305
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,003	△46,376
非支配株主に係る四半期包括利益	△19,036	7,070

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	106,684	223,958
減価償却費	27,522	30,608
のれん償却額	4,564	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△887	244
賞与引当金の増減額（△は減少）	△11,899	12,306
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	1,418	△3,493
受取利息及び受取配当金	△17,631	△19,125
支払利息	1,059	1,399
売上債権の増減額（△は増加）	1,438,664	1,755,720
前受金の増減額（△は減少）	1,098,730	△483,489
たな卸資産の増減額（△は増加）	△950,987	△214,049
仕入債務の増減額（△は減少）	△704,080	△874,735
前渡金の増減額（△は増加）	△445,404	174,210
その他	△192,471	△61,572
小計	355,280	541,981
利息及び配当金の受取額	13,818	15,658
利息の支払額	△1,059	△1,399
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△246,904	△199,764
営業活動によるキャッシュ・フロー	121,134	356,476
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△170,700	△70,700
定期預金の払戻による収入	72,500	172,500
有価証券の取得による支出	△501,429	△1,147
有価証券の償還による収入	499,836	－
有形固定資産の取得による支出	△257,588	△24,423
無形固定資産の取得による支出	△170	△23,294
投資有価証券の取得による支出	△5,443	△8,660
その他	△7,081	△21,499
投資活動によるキャッシュ・フロー	△370,077	22,773
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	79,125	25,000
長期借入金の返済による支出	△9,960	△1,662
配当金の支払額	△163,804	△177,327
非支配株主への配当金の支払額	△5,350	△350
自己株式の取得による支出	△175	△527,272
その他	△1,179	△911
財務活動によるキャッシュ・フロー	△101,344	△682,523
現金及び現金同等物に係る換算差額	△116	△9,002
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△350,404	△312,275
現金及び現金同等物の期首残高	3,651,210	4,057,076
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,300,806	3,744,800

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成28年６月29日開催の取締役会において、会社法第165条第３項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式の取得を行いました。この結果、当第２四半期連結累計期間において自己株式が507,000千円増加し、自己株式は769,493千円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自平成27年４月１日 至平成27年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	産業用機械事業	工業用ダイヤモンド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,023,246	286,422	4,309,669	31,951	4,341,620	－	4,341,620
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	4,023,246	286,422	4,309,669	31,951	4,341,620	－	4,341,620
セグメント利益	332,889	29,751	362,640	3,238	365,878	△274,657	91,221

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△274,657千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自平成28年４月１日 至平成28年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	産業用機械事業	工業用ダイヤモンド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,747,657	242,992	4,990,649	41,673	5,032,323	－	5,032,323
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	4,747,657	242,992	4,990,649	41,673	5,032,323	－	5,032,323
セグメント利益	498,459	24,669	523,129	5,143	528,272	△292,944	235,327

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△292,944千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。